

# 府内最大メガソーラー

## 京の2社、城陽に4500基、来夏稼働へ

機能性食品素材開発会社「ファーマフーズ」(京都市西京区)と生コンクリート製造販売の「京都福田」(伏見区)は12日、城陽市奈島の山砂利採取跡地に、大規模太陽光発電所(メガソーラー)を設置し、来年7月の発電開始を目指していることを明らかにした。稼

働すれば京都府内最大の出力4500キロワットとなる。再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度を活用し全量を関西電力に売電する。両社は今年6月、折半出資し運営会社「ベ



京都府内最大のメガソーラーが設置される予定の山砂利採取跡地(城陽市奈島)

「ナート」(同区)を設立した。総事業費は12億円を見込む。京都府から宅地造成等規制法に基づく開発許可を得て、今秋から造成を始めた。

京都福田の所有地約16畝に設置する。同社によると砂利採取後、30年以上、遊休地になっていた。南向きで日当たりが良く、近くに関電の高圧電線も通る立地条件の良さがあって、投資を決めた。16

畝のうち平地部約6・6畝に、韓国メーカーの太陽光パネルを1万8900枚並べる。発電すれば約1100世帯分の年間電力消費量に相当する。

ファーマフーズは二ワトリ用配合飼料の販売などを手掛けており、将来的には鶏卵抗体の工場やワサビや高麗ニンジン、京野菜などの植物工場、電気自動車用の充電施設などを整備する構想もあり、「クリーンエネルギーと合わせ、バイオビジネスにも参画したい」とする。京都福田は「跡地の有効活用で新たな事業を多角的に展開していく」としている。(堀内陽平)